

S S H特別講義（2022 年度第 9 回）実施要項

題目 「 バイオでものづくり～合成生物学の魅力と課題～」

講師 森本 晃帆

b i t B i o m e 株式会社 研究開発部 研究員

日時 2 月 24 日(火) 11 : 3 0 ~ 1 3 : 0 0

場所 兵庫県立神戸高等学校 視聴覚室（科学館 1 階）

〒657-0804 神戸市灘区城の下通 1 - 5 - 1

対象 総合理学科と普通科の希望生徒

目的 本校卒業生で、現在、早稲田大学発の研究開発型バイオテクノロジー・ベンチャー企業で研究者として活躍されている、森本晃帆氏に、これまでのいきさつや研究内容等について詳しく説明していただき、興味を深める。また、高校時代からの経験を発表していただき、これからの探究活動や今後の進路について考える。特に理系、理系に進む予定の女子には、女性研究者としてのキャリアの実際に接する機会とする。

内容 近年、生物を自在に設計してものづくりをする「合成生物学」という分野が急速に発展しました。中でも、石油資源の利用に変わり、植物や微生物といった生物を使って物質を大量生産する研究が盛んになっています。そこには生物だけでなく、化学、工学、そして情報分野といった、さまざまなサイエンスのプロフェッショナルが関わっています。今回は、そのような合成生物学の魅力と、これから研究をはじめの方々にぜひ解決してほしい課題についてお話しします。また、私のような企業研究員としての働き方も含め、理系へと進んだ先の多様な進路・キャリアについても紹介できればと思います。